



「スピカ」は農業の女神である乙女座の1等星です

Vol.461

SEPTEMBER 9・10月号

9

OCTOBER

10

2021年
9月1日発行（隔月発行）

生活クラブ

〒333-0857
埼玉県川口市小谷場 206
TEL 048-424-2763
FAX 048-424-2796

消費材の魅力を再発見!!

日本一要求の多い組合員が
社会を変える!



☆ 表紙の料理 ☆

しっとり柔らか

『手羽元のマーマレード照り煮』

(レシピは6ページに掲載)

組織数と利用

- 7月末組合員数 組合員数 35,144名 共同班 5,547名 個配 26,976名 デポー 2,621名 対期首 (2021年4月~) +564名
- 利用高 (2021年7月1回~7月4回) ※展示会除く 総額 744,486千円 世帯当たり平均 23,018円 共同班平均 19,936円 個配平均 23,677円

消費材の魅力を見直し！！

日本一要求の多い組合員が
社会を変えよう！

生活クラブでは取り扱う食品や生活用品を「消費材」と呼びます。人が生活することは消費すること。実際に使う人の立場にたち、生産者とともに消費するものを作ります。消費材を通じて生活の中にある課題の解決をめざします。

消費材の利用は社会を変える一歩
あなたのまわりの変化をさがしてみよう

生活クラブの
マヨネーズは…



原材料の
こだわり

食用なたね油
なたね〈オーストラリア、遺伝子組み換えでないものを分別〉
卵黄
卵を含む、国産
醸造酢
リンゴ酢、米酢、食塩、砂糖、香辛料

容器の
こだわり

ガラスびん

WEBサイトには情報がいっぱい

「生活クラブ」で検索してね!

eくらぶ（注文サイト）、Instagram（seikatsuclubsaitama）もよろしく!



なたね油
(製造：米澤製油株)

- ・物理的な圧力をかけてしぼる搾油方法（圧搾しぼり）抽出に溶剤不使用
- ・不純物をお湯に溶け込ませて洗浄する「湯洗い洗浄方式」で精製
- ・原料は全量、**遺伝子組み換えでない**なたね使用（国産、西オーストラリア産）



鶏卵
(製造：株式会社生活クラブたまご)

- ・日本の環境に合い健康に育つように、日本国内で育種改良された純国産鶏種「さくら」と「もみじ」の卵
- ・**遺伝子組み換えでない**、収穫後農薬を使用しない、**国産の飼料用米を配合した**、飼料
- ・一般的にパック詰めした年月日、消費期限（賞味期限）が表示。生活クラブでは鶏卵の腐敗事故をきっかけに「採卵日」も明記。



醸造酢
(製造：株式会社私市醸造株)

- ・長期熟成させた酒粕を使い木桶で造るお酢
- ・国内産原料のみ使用（**遺伝子組み換え原料不使用**）

ガラスびん

- ・化学物質の心配がないガラス容器
- ・回収、洗浄、選別をしてリユース
- ・調味料やジュースなど中身の違うものでも共通の容器を使い、リユースの効率をアップ。生活クラブでは現在8種類の**リユースびん**を使用。

まだある！
社会を変える消費材

●**ウイナナー**
亜硝酸塩（発色剤）を使わない「無塩せき」、着色料や発色剤、保存料、酸化防止剤、化学調味料も不使用の無添加のハム・ソーセージ。市場で「無着色」「無塩せき」の商品が出てくるようになりました。

●**ポリエチレンラップ**

一般的な食品用ラップは、塩ビを素材に可塑性添加されています。生活クラブでは包装材料から食品へ化学物質が移染するのを防ぐため、原材料ポリエチレンのみの無添加のもので取り組んでいます。市場でも購入しやすくなりました。

●**練り物**

生活クラブの練り物は添加物不使用、原料のすり身はリン酸塩を使わない無リンのものを使用。市場でも保存料無添加のものが増えています。リン酸塩*には表示義務はありません。（*タンパク質の変性を防ぎ保水性を高め、弾力性を保つ効果がある食品添加物）

●**せっけん**

せっけんは、天然の植物や動物の油脂とアルカリだけでつくられるシンプルな洗浄剤。肌や環境にも負担が少ないとされます。シャボン玉月間には全国で首長メッセージをもちろ活動すすめています。

もっと知りたい
あなたに

1 書籍

「日本一要求の多い消費者たち」
小澤祥司著（ダイヤモンド社）



生活クラブ組合員が生産者と消費材を作ることを通して、様々な課題を社会へ発信し続けている事例を丁寧に取り上げた一冊

2 参加しよう!

あなたの近くの**生産者交流会**

- ☑ 支部・ブロックからのお知らせをチェック
 - ☑ 生活クラブ埼玉のホームページをチェック
- 生産者交流会では消費材誕生の理由、感動、生産者裏話などお得な情報がいっぱいあります。オンライン開催も多くなりました。

そして
社会を変える

- 1996年、世界で遺伝子組み換え作物の商業栽培が始まり日本に遺伝子組み換え作物が入り始めた時、生活クラブは「遺伝子組み換え（GM:genetically modified）作物・食品は取り扱わないことを基本とする」ことを決め（1997年）、生産者と取り組んできました。これまでの活動により、国内での遺伝子組み換え作物の商業栽培にはストップをかけることができています。原料確保では、西オーストラリアの生産者と**遺伝子組み換えでない**なたねを作り続ける約束をしています。
- 日本で家畜の飼料は多くを輸入に頼っています。生活クラブでは2004年環境保全型の「**飼料用米プロジェクト**」をスタート。休耕田を利用して飼料用米を作り、家畜の飼料に使う取組みを始めたところ、今では国の農業政策になりました。
- 生活クラブでは、なるべくごみを出さず環境負荷を減らすために、1993年よりリサイクル容器から**リユース容器**（回収して再使用可能な容器）に切り換える取組みをはじめました。これを「グリーンシステム*」とよんでいます。2018年、20年以上にわたる「グリーンシステム」の実績が評価され「第6回 環境省グッドライフアワード環境大臣賞（NPO・任意団体部門）」を受賞しました。社会的に高く評価されている活動です。

*グリーンシステム Garbage Reduction for Ecology and Earth's Necessity（地球生態系のためのごみ減量）の略